

=====
これからの労働組合にもとめられる役割について
5回シリーズの 第5回：最終回

著者：(株) ヒューマンバリュー研究所
所長 高橋 基樹

=====
はやぶさ 第137号を発信します。

【タイトル】「これからの労働組合にもとめられる役割について」

***** 本題 *****

第5回 労働組合のワーク・ライフ・バランスへの取組み（最終回）

本連載も今回が最終回となります。今回は、少子高齢化の中で労働組合の「ワーク・ライフ・バランス（WLB）」への取組みを考えてみます。

多くの労働組合が、「ワーク・ライフ・バランス（WLB）」支援に取り組んでいます。時間の制約がある労働者が増加し働き方が多様になっていることや、労働基準法の改正により月60時間超えの時間外労働に対する時間外手当の割増率が50%になったこともWLBを労使で考える必要性を高めています。

WLBが実現できている状態とは、「会社や上司から期待されている仕事あるいは自分自身が納得できる仕事ができ、なおかつ仕事以外でやりたいことや取り組まなくてはならないことにも取り組めること」と定義されています

WLBに対する取組みといっても、子育てや介護にどうしても取り組まなければならなかったり、自分の趣味や自己啓発などのための時間を確保したいという人が出てきたりというように多様な対応が求められています。

1. 労働組合に求められるWLB支援

今後、労働組合は、時間に制約がある多様な働き方をする人が、残業することなく働ける環境を作りだすことを会社と協議していくことが求められるでしょう。

WLB支援には、職場をマネジメントしている管理職の理解が不可欠です。

管理職の中には、依然として仕事中心でWLBの必要性を感じていない人もいます。

そのような人に対する労働組合の働きかけは、会社の協力のもとに進めていく以外にありません。

すでに残業を禁止している企業も出てきています。WLBの実現をという経営方針を打ち出すと共にコスト削減に向けての取り組みとも考えられます。今後、多くの企業において、同様な取り組みが増えることが予想されます。仕事の量は変わらず、時間を短縮していくためには、効率的に仕事をこなしていく「**段取り力**」が必要になります。

労働組合は、WLBによる効率的な仕事の遂行が生産性を高め、社員のモチベーション向上に有効であり、生活満足度も高いことを啓蒙する機会も作る必要があります。

また、生産性を高めることは経営に対し賃上げや一時金の要求をしやすくなることも、組合員に理解してもらうことが必要です。

そのためには、労働組合が、効率的に仕事を進めるスキルを習得する機会を作り出すことが求められます。しかし、個人が効率的な仕事の進め方を実践しても、職場全体で効率アップが見込めなければ全体としてのWLB実現とは言えません。

まず、職場メンバーとの「**業務の棚卸**」を実施し優先順位づけを行い、形骸化している仕事や必要性が薄い資料作成の見直し、会議の効率的な進め方等に取り組むことが重要です。

2.次世代育成の観点からのWLB

WLBの究極の目的は、少子化に対する対応にあります。日本では、女性が生涯に子供を出産する合計特殊出生率が2014年において1.43と低い水準です。

現在の人口を維持するのに必要な出生率は2.1ですのでかなり少ない状態です。

この数字は、短期間のうちに向上させることはできませんが、2060年には現在の人口が約4418万人減少するという予測もなされています。

そのため、国を挙げて少子化への対応が重要視され、100人以上の規模の中小企業には、両立支援の具体的取組を定めた「**一般事業主行動計画**」の作成が義務付けられ、子供を産み育てる環境を整備し率先して社員の利用を促進するWLBの取り組み

が決定しました。

しかし、女性の育児休業はかなり取得されているものの、男性の取得はまだまだ極めて少数に限られているのが実情です。

将来の人口の減少がもたらす社会の閉塞状態を防ぐためにも、労働組合が出産や育児のしやすい環境の整備や、その支援というWLB活動へ取り組むことも重要になっていきますので、是非取組まれることをお勧めします。

今回で、最終回となりました。 ご愛読いただき、有り難うございました。

次回からは、5回シリーズで「融資に結び付く事業計画作成の5つのステップ」というテーマでお送りします。

執筆者は黒川晃氏です。事業計画作成支援コンサルタントであり、講師として1,000社、10,000人以上の研修実績があります。また、(一社)エンタープライズサポートジャパンの理事長としても活躍されています。

***** お知らせ *****

◆ マイナンバー制度導入を検討されている企業様へのご案内です。

「マイナンバー制度直前セミナー」。

社員・パート・アルバイト100人以下の小規模・中小企業がやるべき前準備実務講座

パートナー会社：(株) I & C・HosBiz センターの以下のHP。

<http://www.hosbiz.net/>

で「セミナーのご案内」のアイコンを押してください。詳細をご覧ください。

※ 特にP-マークや品質・環境/情報セキュリティISOを導入済みの企業様には、ローコストでの導入をご提案できます。

=====

◆ パートナー会社の(株) I & C・HosBiz センターが、リーズナブルコストで“現状を打破したい!” “はがゆい” ところに手当てする安心と安全の「かかりつけ医」による「ビジネスドック」(企業の健康診断)のサービスを開始しました。

詳細は、以下のHPを参照ください。(マイナンバー制度にどう取り組むべきかの診断もいたします。)

<http://www.hosbiz.net/pdf/dm.pdf>

=====

経営特くんゲーム 開催のスケジュールのご案内

「マスター20」、「トライアルゲーム」

「経営特訓士資格認定講座」

「インストラクター資格認定講座」

の開催スケジュール・開催案内・料金等は、以下のURLを参照ください。

<http://keiei-tokkunshi.jp/schedule.php>

- 毎回、熱心な皆さんが参加されています。繰り返し参加されることによって、「経営力」がパワーアップされますとともに、「コミュニケーション力」も体得できます。
- 「トライアルゲーム」(初回体験受講)の場合はテキスト代 1,000円
特典として (1) 小冊子「経営のゴールド免許の取り方」を差し上げます。

=====

■キットBOXを頒布いたします■

「経営特くんゲーム」に関心があり、トライアルゲームを受講された方、または、これから体験したい方、向けに「キットBOX」と「マネジメント会計3表」(MO、B/S、P/L)等のゲームに必要な表、ならびに、記入方法、戦略・作戦の考え方を解説した「DVD」を添えて提供いたします。

◆ 購入方法はお問い合わせください。

E-Mail: happy@keiei-tokkunshi.jp

◆価格 : 定価 70,000 円 (税別)

支払方法は、ご相談に応じます。

◆特典

- 1) 「トライアルゲーム」および「マスター20講座」を5回、無料で受講できます。
- 2) 申請いただければ、審査の上、「認定経営特訓士」に登録して頂けます (有料)。
- 3) 更に、インストラクターを目指す方には、特別料金で受講できますので、係までお問い合わせください。

=====

プレゼントのお知らせ

◆DVD「経営特くんゲームのすすめ方」と小冊子「経営のゴールド免許の取り方」をプレゼントします。下記よりお申し込みください。

アドレス : happy@keiei-tokkunshi.jp

◆「人生に五計あり」の保存版を作りましたので、ご希望の方は、

happy@keiei-tokkunshi.jp

でお申し込みください。

折り返し、メールにて送付させていただきます。

=====

一般社団法人 経営特訓士協会 (略称: KTGA)

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

発行責任者： 理事長 平本 靖夫、 編集： 理事 石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://asu12.com/d.php?t=test&m=stone_river@hosbiz.net

=====